



自主学習会 自閉症（構造化）

5月25日(水)・26日(木)から

構造化の基本的な考え方について、用意していただいたプリントを見ながら説明がありました。次に、小3 西村学級・高2 松田学級を回り、空間の構造化（ex 教室内の配置）や時間の構造化（ex スケジュール）視覚的構造化（ex 掃除の仕方）の様子を見学しました。実際に子供たちに合わせた構造化から研修でき分かりやすいものでした。その後、生活学習室でグループに分かれ、集められた物の中から活動の流れを考えてワークシステムを作り、発表し合いました。考え込みながらそしてわいわい言いながら楽しいひとときでした。

- 構造化を行うと
- ・ 不安や混乱が減り、安心して過ごせる
 - ・ 学習が促進される
 - ・ 自立した行動が促進され、
自立心・自尊心が培われる
 - ・ 自分の行動をコントロールすることができる



構造化をすることで、子供たちの不安や緊張が随分と和らぎ、周りから問題行動と呼ばれている行動が減り、本来、子供たち自身が持っている力を発揮できるようになる。力を発揮できる場面が増えることで、自信を持って自分から行動するようになったり、対人関係やコミュニケーションに広がりが見られるようになる。

自分が担任している子は「そんなことをしなくても大丈夫」と勝手に決めつけずに
まずは「構造化を試してみてもいいでしょうか」子供たちの願いを達成するために!!

立命館大学のHSPで、研修会の資料・ワークシステムの教材の写真・研修会で実践的な場面を考えて話し合われた写真やビデオを紹介していきます。アドレスは下記ですがパスワードが必要です。富家先生又は山元までお問い合わせ下さい。

<http://www.human.ritumei.ac.jp/project/project2/cug/>

「自閉症って」「高機能自閉症・アスペルガー症候群の理解と援助」の2種類のプリントを富家先生が作ってくださいました。山元の机の上に置いてありますので、ご活用下さい。



自主学習会・研修会のご案内

6月14日(月) 3:45から「自閉症講座(コミュニケーション)」を予定していましたが、5月28日に予定されていた「医療的配慮を要する児童生徒の健康・安全の指導」に換えます。

6月23日(火)の養護育成教育研修会は、京都市の養護学校が地域の小中学校にも公開する研修会です。本校では、臨床動作法について考え方を学習した後、動作課題の組み立てを実際に行います。学校祭体育の部を控え忙しい時期ですが、当日は他の会議を計画しないようにしています。多数参加していただくようお願いします。



